

える木工教室に参加 宮城県登米市で森林の大切さを伝

の永浦百音が森林組合で働いていた時 に、その舞台となったのが宮城県の登米 レビドラマ小説「おかえりモネ」。主人公 10月に終わりを迎えた、NHK連続テ

う」というイベントに参加するためです。 工教室 組手什を通して森の豊かさを学ぼ 県森林組合連合会さんと農林中央金庫さ んが主催された「カンタン楽しい!親子木 その登米市に再訪問いたしました。宮城

> こと。そこで私は、参加される方々に「森林 関わり方をお話しなければなりませんで やすく、かつ端的に森林に対する私たちの 子どもたちもいるとのことで、より分かり の参加者の中には、小学校低学年の小さな いう役割を仰せつかりました。しかし、そ と私たちの生活のつながり」を発表すると と併せて、森林の大切さを知っていただく に組手什づくりを体験していただくこと した。森林組合の方と打ち合わせを重ねな このイベントの目的は、参加された方々

ベントに司会として参加

うとする動きになります。 られていましたが、今回の法改正で、民間 れる、公共施設、で木を使おうと呼びかけ るとのことで、これまでは新たに建築さ 律は、「都市の木造化推進法」とも呼ばれ せていただく機会もありました。この法 よびシンポジウム」に、司会として参加さ の促進に関する法律』施行記念講演会お 等のための建築物等における木材の利用 施設、でも積極的に木を取り入れていこ 10月には「『脱炭素社会の実現に資する

来、感激しました。

記念講演会でその解説を伺うことが出 が感想もお伝えすることが出来、その上、

担手什を通して森の豊かさを学ほう

よる記念講演「木が拓く日本の未来」を拝 今回の講演会で、建築家・隈研吾さんに

▲組手什で棚を作って記念撮影!

を持ってもらえるのか、試行 がら、どのようにすれば興味 錯誤を重ねていきました。

で、とても嬉しかったです。 興味を持っていただけたよう すかったです!」「面白かった ました。多くの方に林業界に です」と声をかけていただき と、参加者の方から「分かりや 当日、イベントが終了する



▲記念講演会およびシンポジウムにて

都市の木造化推進を呼びかけるイ

く!」で紹介しましたように「隈研吾展!

出来ただけで大興奮!少しではあります に訪れたばかりの私は、隈さんにお会い

いく必要がありそうです。 生活を守り、恩恵を受け続けるためにも 恵をたくさん受けています。自分たちの めに、まずは身の回りの木質化を進めて 森林を守らなければなりません。そのた とのことです。都会の生活は、山からの恩 ることが社会の構造を変えるチャンス」 ティングシステム)を使い、木質化を進め 隈さん曰く「木というOS(オペレー